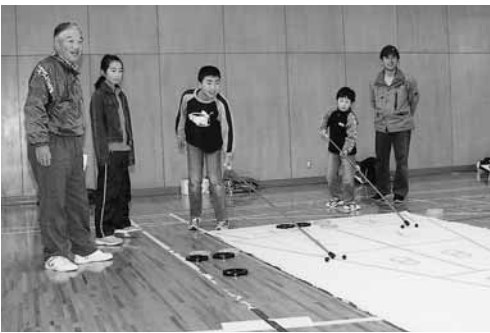


川崎



親子で「竹とんぼ」づくりに挑戦

ニュースポーツを楽しんだ子どもたち



中学生がパパママ体験

12月26日、農村環境改善センターでキューピー広場「キッズ、赤ちゃんふれあい事業」が行われ、川崎中学校(皆川修校長、生徒114人)の生徒男子3人、女子2人が、乳幼児と触れ合いました。

キューピー広場は、思春期の中学生が乳幼児と触れ合って命の尊さを知る機会として企画され、参加した生徒は、母親と一緒に訪れた乳幼児とボールプールや積み木と一緒に遊んだり、恐る恐る抱っこしたりして、短い時間でしたがパパ、ママを体験しました。

おやつの中には、地域の食生活改善リーダーたちがクレープを提供。思い思いにトッピングをして、おいしく食べていました。



赤ちゃんを抱っこする川崎中生徒

楽しく体験！川の楽校

12月10日、川崎公民館で川の楽校「竹細工に挑戦」が行われました。葛西信一さん(川崎町銚子)が、小刀の使い方や羽の角度の付け方などを丁寧に指導し、参加した親子は、一緒に竹とんぼ作成を体験。完成した竹とんぼを思いきり飛ばしていました。

12月23日には、川の楽校「ニュースポーツに挑戦」が行われ、家族連れなど16人がニュースポーツを楽しみました。ニュースポーツは、年齢や性別に関係なくみんなで楽しめるスポーツで、シャフルボードの他に、パタンクやグラウンドゴルフなどがあります。この日は、シャフルボードとドッチビーを体育指導員の岩淵正義さんと廣長千鶴子さんが指導しました。

この「川の楽校」は、親子や地域住民と触れ合いを深めるいろいろな体験を通じて、生きる力や郷土愛を育むことを目的として、川崎村子ども会育成会連合会の主催で年間を通じ開催されています。今年度は、竹細工とニュースポーツの他に、ホテル探検団や文化財ウォークなどが行われました。

寒さの中でけいこ初め

かわさき柔道スポーツ少年団(佐藤勇三団長、団員19人)の早朝寒げいこが、川崎中学校柔剣道場で1月10日始まり、寒さ厳しい早朝6時から、団員たちはランニングや受け身の練習などで汗を流しました。

この早朝寒げいこは、柔道技術の向上と精神面を鍛えるために毎年開催され、少年団OBや柔道経験者が指導しています。

最終日の15日には、紅白試合でけいこの成果を披露。期間中休まず参加した団員には皆勤賞、昇級した団員には認定証と帯が贈られました。また、この日は鏡開きも行われ、団員や育成会員が一緒にもちつきをして、今年の活躍を誓いました。



寒さや眠さに負けずに頑張りました

勇壮な纏ふりを披露



無火災の願いを託して 勇壮に纏ふり

1月2日、大町通りで一年の無火災と商店街の商売繁盛を願って、市消防団による初纏ふりが行われました。約200人の団員たちが総合防災センターで出発式を行い、地主町、大町を練り歩きました。

また、平成13年から復活したはしご乗りでは、「二人乗り」や「一本遠見」などの大技も披露され、買い物客をあっと思わせた。

一関ハーフマラソン出場者 海外レースで大活躍

9月25日に行われた一関国際ハーフマラソンで上位入賞し、ホノルルマラソン大会と、シンガポールマラソン大会に派遣された選手が、見事上位入賞を果たしました。

12月11日に行われたホノルルマラソンでは、舞川出身で北上市の千葉信彦さんが、男子1万2783人中5位、千葉県船橋市の菅原敦子さんが、女子1万1478人中8位に輝きました。

また、12月4日に行われたシンガポールマラソン男子10^キの部に出場した平泉町の佐川貴典さんは3725人の参加者の中で見事優勝、女子10^キに出場した一関市の菅原初子さんも3221人中3位に入賞しました。



ホノルルマラソンで5位に入賞した千葉さん(右)

弥栄中3年生が市長に提言 新市のまちづくりの「条例」

弥栄中学校(大坊敦子校長、生徒39人)の3年生13人が社会科の学習で取り組んだ「新しくスタートする一関市のまちづくりのための条例」が12月27日、市役所で浅井市長に提言されました。「条例」は①前文 ②目的 ③基本原則 ④市民の役割 ⑤市の役割 ⑥市議会の役割一などで構成。一人一人が「自然を大切に」「働く場がたくさんある」「活気がある」「みんなが安心できる」など新市の「まち」づくりへの願いと、そのための方策や自分ができることについて考え、作成しました。生徒代表の千葉里佳さんと菅原賢太君から説明を受けた浅井市長は「これからのまちづくりには若い人の力が必要。皆さんのように一生懸命考えてくれる人がいると心強い」と感謝を述べました。

「条例」を浅井市長に提言した千葉里佳さん(左)と菅原賢太君(中)



今年の積雪は過去最高 まつるベスノーランドオープン

まつるベスノーランドが12月23日オープンしました。今年度は例年に無い積雪で、オープン当日も積雪は約90センチ。吹雪の中行われたオープニングセレモニーには、スキー協会や観光協会など関係者約30人が参加し、今シーズンのオープンを祝いました。スノーランドは3月21日まで利用でき、期間中の2月26日は「スキー子どもの日」として、小学生以下はリフトが無料になります。

ぜひ家族や仲間と一緒に楽しみください。



吹雪の中のテープカット